

# 進路通信

廿日市中学校  
第9号  
08月31日(月)  
発行責任者 吉本邦治

## どうして勉強しなきゃいけないの？

問題 「ドラえもん」がすぐれた技術でつくられていても、生物として認められることはありません。それはなぜですか？

これは、ある私立中学の入試で出題された理科の問題です。これまでどの問題集でも見たことがない切り口の問題に対して、どれくらい深い理解力や思考力があるかを問うのです。大人も手こずる難問ですが、受験生にとっては比較的易しかったようで、ある塾でこの「ドラえもん問題」を出してみると、すぐにある児童が「ドラえもんは成長しないから」と発言しました。すると別の児童が「ビッグライトを使えば大きくなれるよ。だから、成長すると言ってもいい」と反論。これに対し最初に答えた児童はこう再反論したのです。「生物の成長とは細胞が増えることだから、ビッグライトで大きくなったドラえもんは体内の部品がそれぞれ大きくなっただけで成長とは言えない」。小学5年生のやりとりです。



**「夏休みはほとんどなかったし、復習テストも難しかったし、何かあれば「受験生でしょ」なんて言われるし、これじゃストレスもたまるよ。そもそも、どうして勉強しなきゃいけないの？」なんて考えてしまいませんか？**

例えば社会なら、「**どうして歴史の勉強なんかするの？ 終わったことを考えても仕方ないのに**」という感じで…。歴史を勉強するのは、過去の出来事を振り返ることで、これから自分はどう生きていくべきかを考えるためなのです。

**「どうして数学を勉強する必要があるの？ 算数ができれば生活には困らないのに」**そうですね。日常生活での計算だけなら小学校の算数で充分です。でも、数学で身につける「**こうすればこうなる**」という先を読む力があれば、もっと合理的で楽しい人生を送ることができるのです。

**「自分は外国には行かないから、英語なんか勉強しなくていいよ」**自分の知らない新しい文化に触れることで視野が広がり、今までと違った考え方ができるようになり、豊かな人生を送ることができるのです。

つまり勉強とは、人生をより楽に、より楽しく送るためにあるのです。数学の授業で難問にぶつかったとき、すぐにあきらめてやり方を教えてもらっている生徒がいます。たしかに、やり方を教えてもらえばその問題は解けて気持ちいいかもしれませんが、これは教えてもらったやり方を使うことができただけで、本当の理解にはなりません。答を出すために、自分の中の知識や経験をすべて使って考えることが大切なのです。そこでついた力は、人生を楽しくしてくれますよ。